

現状 1 地域の現況と人口推計

(1) 位置と地勢

市の中部に位置する明峰小地域は、昭和 45 年から 50 年代前半にかけて、猪名川西岸の丘陵地に約 150ha、4,000 世帯の規模で開発された大規模団地を中心に発展しています。

能勢電鉄滝山駅、鶯の森駅が地域の東側にあり、中央を南北に走る県道川西篠山線を中心とした阪急バス路線が整備されています。また、高等学校や老人ホームなどの教育、福祉施設もあります。



(2) 人口と世帯

人口は、平成 17 年の 15,190 人から平成 22 年の 15,465 人まで 5 年間で 1.8%増加しました（全市では、0.1%増加しています）。

年齢別人口割合は、65～69 歳が最も多く、続いて 60～64 歳が多くなっています。【左下図】

世帯数は、平成 18 年が 5,710 世帯、平成 23 年が 6,046 世帯と 5 年間で 5.9%増加しています（全市では 6%増加しています）。

地域の将来人口を推計すると、10 年後の平成 34 年にはおおむね 14,500 人となり、6%ほど少なくなる可能性があります。

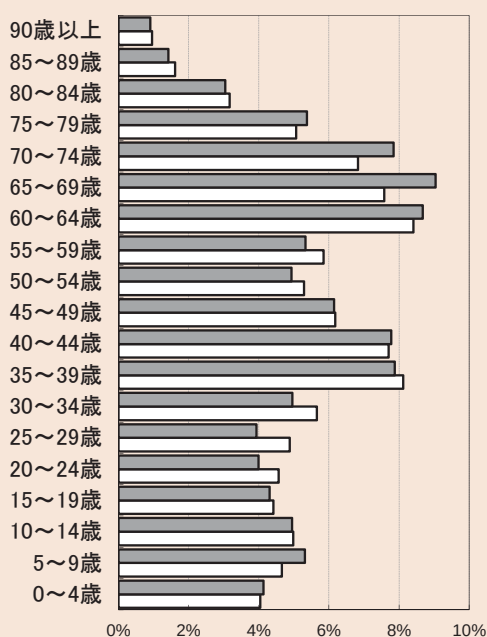


めざす地域像

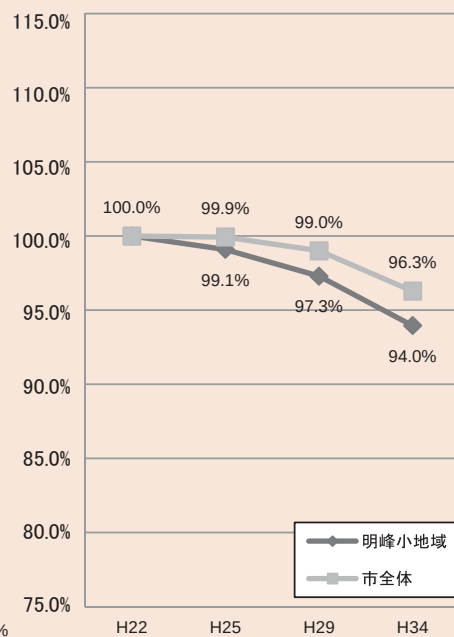
明峰小地域は、背後にみどり豊かな山を頂く閑静な住宅地です。四方を囲む眺望もさることながら、整然としたきれいな街並みが広がり、福祉・文教・公園などの公共的な施設が充実する恵まれた居住環境を有しています。また、特技を持つ人、意識の高い人、元気な人など優れた人材が多いことも特徴です。

今後は、高齢化社会への対応はもとより、地域の安全安心を守り、若い世代の方々にも“住みたいまち”と実感していただけるよう、地域の活力と魅力の向上に努めていきます。

人口構成



将来人口推計



人口全体を母数とする割合で表示

(住民基本台帳ベース)

上段：明峰小地域 下段：市全体

(H23 住民基本台帳)

地域の課題とありたい姿

地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、明峰小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ（第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ）に整理・集約すると、次のようになります。

暮らし

◆…主な課題…◆

- ・公園に遊具が少なく、子どもの安全な遊び場所がない
- ・坂道が多く、バスの運行回数も少ないので、交通の便を良くする必要がある
- ・日常生活に必要な店が少なく買い物が不便であるため、利便性を向上させる必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・公園に現代風の遊具があり、いつもたくさんの人がいて、交流が図れるまちにしたい
- ・公共交通が充実し、また住民にやさしい道路があり、いつでも気軽に外出できるまちにしたい
- ・スポーツのつながりを、もっと深く持てるまちにしたい

安全安心

◆…主な課題…◆

- ・ひとり暮らしの高齢者が増え、近所付き合いなども難しく、見守りや暮らしを支援する環境づくりが必要である
- ・空き地や空き家の増加にともなう犯罪への不安解消や、災害時の暮らしの安全や安心向上が必要である
- ・ペットの飼い方やゴミの出し方など生活マナーを改善する必要がある
- ・静かな住宅地を守り、雑木林など自然保存を拡充していく必要がある
- ・高齢者が外へ出るような活動の場が必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・高齢者や障がい者が健康で安心して暮らせる環境が整ったまちにしたい
- ・高齢者の知恵や経験を生かせる地域活動が活発なまちにしたい
- ・身近なエリアに店舗や医療施設があり、生活が便利で障がい者や高齢者も住みやすいまちにしたい
- ・防犯や防災や交通安全のための仕組みや施設が整った安心して住めるまちにしたい
- ・四季を感じる自然環境に恵まれ、みどりや小鳥が多い静かなまちにしたい

生きがい

◆…主な課題…◆

- ・地域の人が小・中学校にもっと目を向けて応援する環境づくりを進める必要がある
- ・子どもたちの教育への不安解消や、通学時の安全確保を進める必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・よその子も自分の子のように叱り、譲り合いの心が育つよう、地域の子どもたちを地域の住民が世代を超えて育んでいる元気なまちにしたい

つながり

◆…主な課題…◆

- ・近所付き合いや世代間のふれあいや交流を増やす必要がある
- ・コミュニティに対する意識が希薄で、自治会活動や行事への参加率が低く、担い手も高齢化している

◆…地域のありたい姿…◆

- ・住民が笑顔であいさつを交わしたり、地域活動が活発で、誰もがふるさとと呼べるまちにしたい
- ・近所付き合いや世代間の温かい交流があり、皆が笑顔であいさつを交わすまちにしたい
- ・つながりを生むイベントや行事が盛りだくさんで、人が集まりやすい場所があるまちにしたい

地域のありたい姿を実現するための取り組み

地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、明峰小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み内容を整理すると、次のようになります。

暮らし

- ・散策ルートの整備
- ・バスの路線に関して、行政と関係者での改善委員会を設け、検討を行う
- ・移動販売*（コープ、自治会、軽トラ）

安全安心

- ・警察と連携した自主パトロールの実施
- ・自主防災マップの作成
- ・自家用車ボランティアの普及

生きがい

- ・子育て交流広場をもっとつくる
- ・多世代が生活できるようにする
- ・若い世代の人用の交流の場や設備を設ける

つながり

- ・向こう三軒両隣をもっと広げる
- ・自治会への若者の参加を増やす方法を考える
- ・地域通貨*をつくる

市の主な関連する施策（参考）

- ・施策 3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします
- ・施策 4 公園を利用しやすくします
- ・施策 8 総合的な交通環境の向上を図ります
- ・施策 11 商工業を振興します
- ・施策 16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます
- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します
- ・施策 23 障がい者の自立した生活と社会参加を促進します
- ・施策 25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 27 生活安全の向上を図ります
- ・施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します
- ・施策 29 快適な生活環境を守ります
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策 35 こころ豊かな児童・生徒を育みます
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します